

管理区域内（第2ウラン回収室）でのウランの飛散について

平成20年8月8日

株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン

1. 概要

平成20年8月8日（金）午前9時31分頃、当社（株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン）第2加工棟1種管理区域（*1）内の第2ウラン回収室（*2）に設置しているエアモニタが発報しました。同部屋の床に設置されている受けタンクに投入した過酸化水素水から生じた泡により、ウランを含む飛沫が発生したことによります（添付図参照）。

作業員（2名）の内1名及び放射線管理員（2名）の内1名に被ばくはなく、他2名の被ばくはごく低レベル（*3）でした。また、周辺環境への放射性物質の放出はありませんでした。

- * 1：非密封の二酸化ウランを取り扱える区域
- * 2：加工工程で発生したスクラップを回収する工程の室
- * 3：約1.87mSv及び約0.32mSv（ともに記録レベル未満）

2. 原因

第2ウラン回収室において、過酸化水素水タンク交換のため、過酸化水素水を抜く作業を行いました。過酸化水素水タンクの蓋を取り外す際、タンク下流のバルブを開放したまま実施したため、タンク及び配管の気圧の変化により、タンク内及び配管中に残存した過酸化水素水が、受けタンクに一度に流入しました。受けタンクにはウランを含む残留溶液があり、過酸化水素水から生じた泡により、ウランを含む飛沫が発生しました。

3. 措置

室内の空気中ウラン濃度は正常値になっており、通常の状態へ復帰しています。

4. 報告

本件事象発生後、直ちに経済産業省原子力安全・保安院、神奈川県及び横須賀市等、関係機関へ報告致しました。



5. その他

本日、福島県双葉町から工場見学のため来社されていましたが、第1種管理区域への立ち入りはなく、影響ありませんでした。

お問い合わせ先：

㈱グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン広報部 東（電話：046-833-2321）

添付図

-  第1種管理区域
-  第2種管理区域

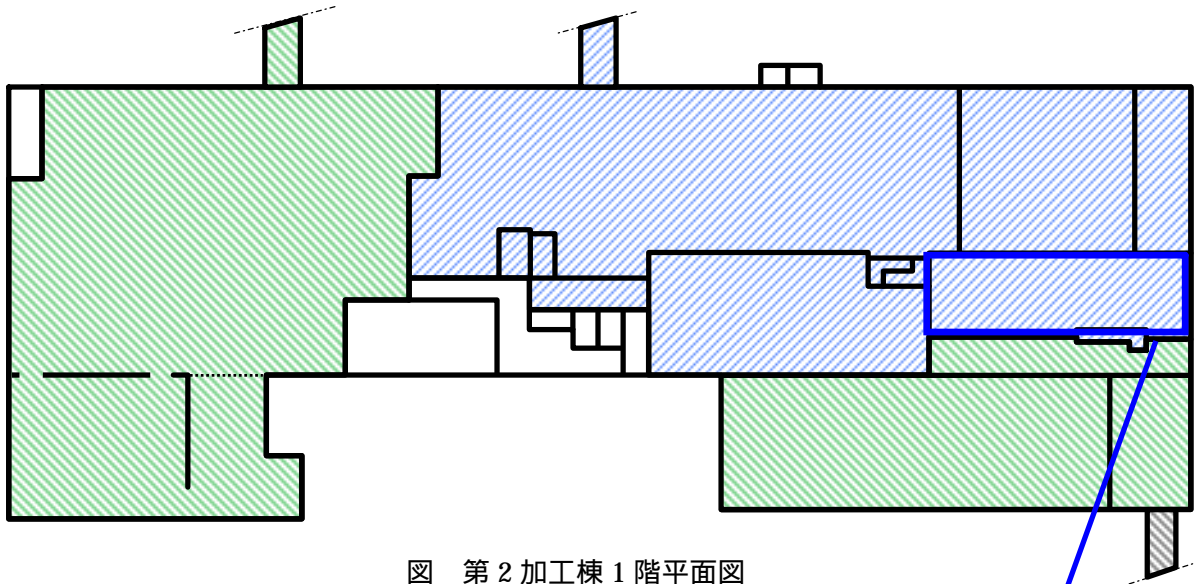
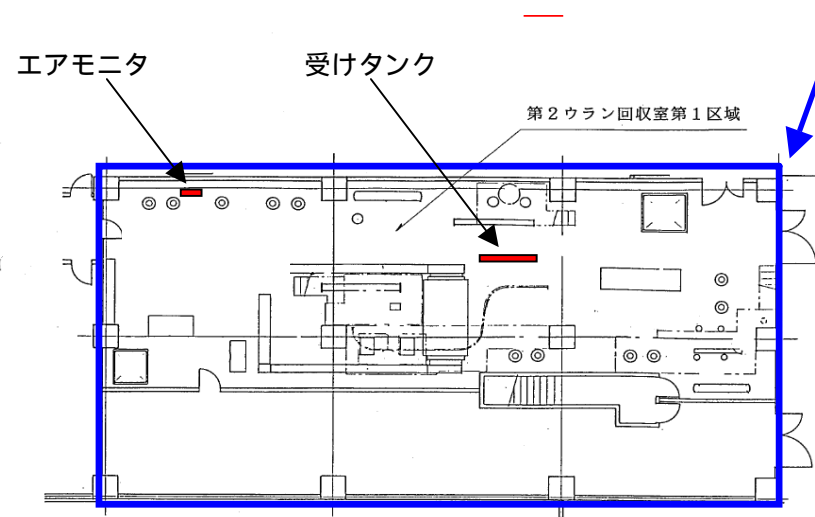


図 第2加工棟1階平面図

図 第2加工棟1階 第2ウラン回収室第1区域 (上図の拡大図)



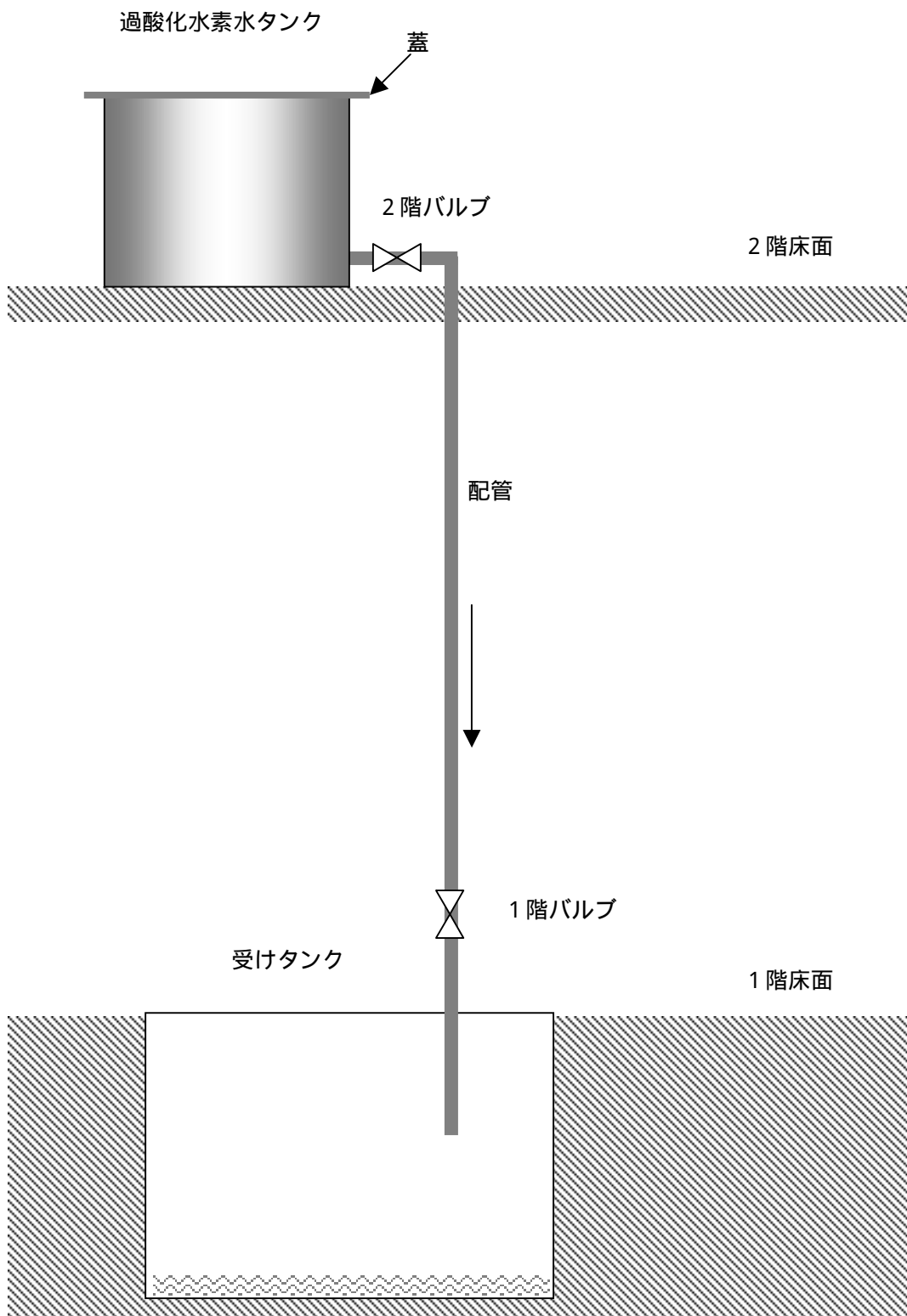
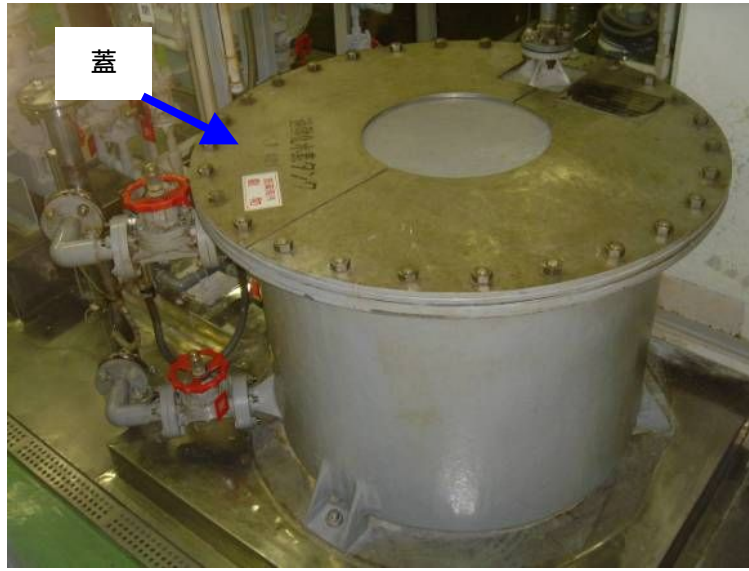


図 受けタンク及び過酸化水素水タンク



2階 過酸化水素水タンク



1階 受けタンク及び配管